

地域	病院名	H29.7.1					R7.7.1					(参考) コロナ 病床 R3.12 現在	再検証の内容（H29.7時点からR7までの対応）					病院側の考え 【病院プロフィールシートを参考に、病床（規模等）及び医療機能（主に再検証の観点）について記述】	県の考え （再検証の確認結果と求められる医療機能等） 【平成28年度調整会議資料なども参考に整理】				
		合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	合計	高度急性期	急性期	回復期		慢性期	休棟中	再編、統合	減床	転換			調整中	見直しなし		
上 十 三	十和田市立中央病院	325	87	182	46		10	315	87	182	46						14				○	病床：現状維持 医療機能：心疾患、小児の領域について、医療連携等によって維持	・再検証として、「見直しなし」は妥当 ・病床規模、機能の見直しや在宅医療等について検討
	三沢市立三沢病院	220		220				220		169	51				急▲51→回			2				病床：規模維持、転換（今後） 医療機能：脳卒中、小児、災害、へき地の領域について、引き続き担う	・再検証として、「転換」は妥当 ・更なる病床規模、機能の見直しや回復期機能への転換、在宅医療等について検討
	公立七戸病院	120		84	36			110		74	36			急▲10								病床：減床 医療機能：がん、心疾患等の領域については、医療連携等によって維持 脳卒中の領域は、外来のみ対応 小児の領域は、外来、予防接種健診等対応	・再検証として、「減床」は妥当 ・更なる病床規模の見直し及び回復期・慢性期機能への転換、在宅医療、コロナ対応等について検討
	公立野辺地病院	151		120		31		151		60	31	60			急▲31→回 急▲29→慢							病床：規模維持、転換（今後） 医療機能：がんの領域を維持 心疾患、脳卒中、小児、災害、研修・派遣については、医療連携等によって維持	・再検証として、「転換」は妥当 ・更なる病床規模の見直し及び回復期・慢性期機能への転換、在宅医療、コロナ対応等について検討

注 黒字は実施済み又は実施中、赤字は今後実施

参考）高度急性期機能及び急性期機能の病床を有する民間病院

十和田第一病院（60床）、十和田東病院（60床）、ちびき病院（110床）